

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 骨髄系腫瘍の病態解析と治療標的の探索及び臨床情報の後方視的解析

[研究の目的]

骨髄系腫瘍(急性骨髄性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性疾患、芽球形形質細胞様樹状細胞腫瘍)がなぜ発症するのかについては未だ不明点が多く、治療法の開発も遅れているのが現状です。本研究では既存試料と診療情報を利用してこの問題の解決に取り組みます。

[研究の方法]

対象となる患者さん

骨髄系腫瘍(急性骨髄性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性疾患、芽球形形質細胞様樹状細胞腫瘍)の患者さんで、2011年7月1日から2023~~2~~年6月30日の間に、当院で診療を受けられた方

利用する検体・診療情報

【検体】末梢血、骨髄、組織、体腔液などの保存検体、及びそれらの病理検体を用いて遺伝子・染色体解析(whole genome sequencing もしくは whole exome sequencing、G-band 法及び FISH 法による染色体解析)、遺伝子発現解析(RNA シークエンス、マイクロアレイ)、タンパク発現解析(フローサイトメトリー、ウェスタンブロッティング)、細胞培養及び株化・セルバンク登録、薬剤投与を行います。

【診療情報】患者特性(年齢、性別、既往歴、内服薬、喫煙歴、飲酒歴、家族歴、検体検査結果、画像検査結果、診断及び病型)、臨床経過、治療効果(治療内容及び治療効果)、予後(原病悪化、生存)

[研究組織]

(氏名) 内田俊平 本田潤一郎 (所属) 輸血部、血液・免疫・呼吸器内科 (職名) 助教

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 輸血部、血液・免疫・呼吸器内科 担当医師 内田俊平 本田潤一郎

電話 087-891-5111(直通) FAX 087-891-2147